

総務文教委員会委員長報告（決算認定）

1.委員会開催日	令和4年11月8日
2.付託件数	1件
3.議案名	認定第1号 令和3年度室戸市一般会計歳入歳出決算の認定について
4.決算概要	表1のとおり
5.審査経過	表2のとおり
6.結果	認定

表1.令和3年度決算総括表

（単位：円）

決算額			
歳入	歳出	差引	翌年度繰越財源
16,552,892,797	15,769,146,251	783,746,546	215,881,000
実質収支	単年度収支	実質単年度収支	市債残高
567,865,546	160,476,379	598,722,000	14,289,448,337

表2.審査経過

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
財政課	(歳入) (歳出)	歳入全体に占める市債額が市税額より多いと感じる。今後人口が減少していけば、予算規模も考え直さなければいけないと思うが、今後の財政運営について聞く。	令和3年度は、診療所の建設で起債を借りたため、令和2年度と比較すると市債額が増えた。新規事業は今後も計画されており、事業の取捨選択や優先順位をつけることで新規発行額を抑制し、市債残高の縮小に計画的に取り組みなければいけないと考えている。
総務課	2-1-11-12 電算機器保守他委託料	委託料の内訳について聞く。	ブロードバンド施設の運営保守管理委託料が1,980万円、地域インターネットワーク運用保守委託料が380万7,650円、番号連携サーバー保守委託料が238万8,452円である。
選挙管理委員会事務局	2-4-1-7 報償費	学校への啓発活動は行っているのか。特に選挙権のある高校生への啓発活動は行っているのか。	令和3年度は小学校で出前授業を行った。学校にはカリキュラムや時間割があるので、調整を行いながら高校でも啓発活動を進めていきたい。
会計課		質疑なし	
財産管理課	(歳入) 13-1-6-4 公営住宅使用料	不納欠損額の内訳について聞く。	自己破産1件242万7,900円、強制執行等後の無資力1件141万2千円、死亡・行方不明等3件568万6,100円である。
	(歳入) 14-2-5-2 空き家対策総合支援事業補助金	この補助金は個人の家屋に対する補助金か。	個人の住宅家屋の解体にあたっての補助金であり、毎年30件程度の申請がある。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
まちづくり推進課	2-1-6-1 移住相談員報酬、集落支援員等報酬	それぞれの人数と1名当たりの報酬額はいくらか。	移住相談員2名分、集落支援員等3名分であり、どちらも1名当たり月額16万7,458円である。集落支援員3名のうち2名については、年度途中での採用のため、移住相談員2名分の支出額に比べ、金額は少額となった。
		集落支援員等の活動内容について聞く。	集落支援員1名と地域おこし協力隊員1名については、椎名地区の集落活動センターで地域の方の要望等を聞きながら、イベントの企画を行うなど、地域の活性化に努めている。地域プロジェクトマネージャー1名は、SDGs推進のためのYouTube動画を作成し、情報発信等を行っている。
税務課	(歳入) 1 款 市税	収入未済となる主な理由は何か。	自己破産や、生活保護になられた方、低収入の方など、税金が払えない状況に陥ってしまった方がいるためである。令和3年度において、徴収率は県内11市中、1位ではあるが、100%ではないため、今後も収入未済額を減らしていきたいと考えている。
	(歳入) 20-3-4-1 住宅新築資金等貸付金元利収入	不納欠損額の処理内訳について聞く。	不納欠損処理をしたものは4件あった。内訳は、主債務者が生活保護で2名の連帯保証人が死亡したのが2件、主債務者が死亡し相続人が相続放棄、連帯保証人1名が死亡、もう1名が破産宣告をしたのが1件、主債務者が死亡し、その相続人が相続放棄、2名の連帯保証人がともに死亡となり、協議のうえ4件とも不納欠損処理を行い、議会へ報告している。
防災対策課	7-5-1-12 木造住宅耐震診断委託料(明許分)	耐震診断の申請件数と実施状況の進捗率について聞く。	令和3年度は36件分である。また進捗率については、住宅総数6,280棟のうち、耐震性のある住宅総数が3,198棟、住宅耐震化率は50.9%である。
市民課		質疑なし	
監査委員事務局	2-6-1-1 監査委員出務報酬	監査請求の件数は何件か。	2件である。
	2-6-1-8 旅費、 2-6-1-12 委託料	予算が未執行となった理由について聞く。	普通旅費、委託料ともにコロナ禍により、出張や工事監査を取りやめたため、予算が未執行となった。
福祉事務所	3-3-2-19 扶助費	昨年度よりも5千万円ほど減額したということは、生活保護件数が減ってきているということか。	世帯数は、495世帯程度で推移している。減少傾向ではあるが、近年は横ばいである。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	4-1-2-12 委託料	約127万円の不用額は、予防接種者が少なかったことによる不用額であると認識している。接種者数が少なかった理由は何か。	様々な種類の予防接種があるが、特にコロナの予防接種について接種希望者が少なかったことが主な要因であると考えている。
人権啓発課	3-1-7 人権啓発費	全ての市民館の予算額は同額なのか。	それぞれの市民館が行う事業毎に予算を組んでいるため、全ての市民館が同額ではない。
地域医療対策課	4-1-6-14 市立室戸診療所（仮称）建設工事費（明許分）	不用額の約6,800万円は、入札減によるものか。	7億5,115万円の建設工事費予算額に対し、支出額が約6億8,200万円となった。入札減による不用額である。
産業振興課	（歳入） 20-3-3-1 産業育成事業 資金貸付金元利収入	収入未済額が非常に多額であるが、貸付金の内容について聞く。	昭和58年から平成14年度までの縫製用ミシン購入や縫製業の運転資金などに対する貸付金である。1名あたり150～200万円程度の貸付金であり、11名の方が滞納されている。
	6-1-2-18 企業立地促進 事業費補助金 （明許分）	事業の詳細について聞く。	総事業費4,422万3,285円、補助対象経費4,020万2,986円、令和3年度に2千万円を交付している。
		新規雇用者の人数について聞く。また雇用者の就業状況の確認等は行っているのか。	新規雇用は正職員2名である。事業者から毎年書類を提出していただくことを義務付けており、令和4年度以降は、雇用期間を3年から5年以上に変更している。
建設土木課	7-1-2 国土調査費	国土調査の進捗率について聞く。	室戸市全体では約22.4%、浸水区域内では約9割以上である。令和5年度で住家等のある浸水区域は全て終わる予定である。
観光ジオパーク 推進課	6-1-3-12 海洋深層水 体験交流センター指定 管理料	利用者からサービス等に対して様々な声があるが、指定管理料は十分なのか聞く。	当初の協定時の金額で運営していただいているが、燃料費の高騰もあり、時間短縮や休日の増加等、経費を切り詰めての営業となっている。利用者からの指摘事項や、契約時との相違点などを先日文書にて指導を行った。今後も利用者には負担がかからないように指導を行っていく。
消防本部	8-1-3-8 旅費	不用額が127万円だが、分団の出動回数の減少によるものか。	その通りである。出動回数が少なかったため、予算額の半分程度が不用額となった。ここ数年は100万円前後で推移している。
	8-1-3-17 制服他購入費	1名あたりの予算額はいくらか。	制服の購入は、新入団員や幹部の方へ支給する制服であり、幹部に係る制服一式は1名4万5千円程度で予算計上している。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
学校保育課	9-5-3 学校給食共同調理場費	コロナの影響で補正予算額がマイナスとなっているのか。	コロナの影響で給食の提供日数が減ったことや会計年度任用職員が雇用できず、常時1～2名欠員状態であったことから、最終的な金額の調整の際に減額を行った。
	9-2-2-10 需用費 9-3-2-10 需用費	不用額が発生するようであれば、学校図書に予算を回してほしいかどうか。	予算は、学校からの要望額を要求している。教育委員会としても学校の消耗品や図書など教育に関する部分は、予算をつけていきたいと考えている。
生涯学習課	(歳入) 20-3-5-1 奨学資金貸付金	滞納分について支払いはされているのか。	滞納されている方は7名おり、保証人の方に文書を送付した。送付後に支払いのあった方もあり、一定の効果が出ていると考えている。